

2023（令和5）年度

事業計画書

特別養護老人ホーム柏松苑

地域密着型特別養護老人ホーム柏松苑別館穂の香

村田町デイサービスセンター

谷山介護支援センター



社会福祉法人柏松会

展望と指針

昭和63年度（1988年）から35年の星霜を重ね、令和5年度（2023年）を迎える。この間、国内では少子高齢化が進み、仙南圏でも年少人口と労働人口が急減し、老年人口は倍増した。柏松苑のオープン当時10%程度だった村田町の高齢化率は37%を超え、遠からず40%台に突入する。急速に地域社会が変わりゆく中、長年地域とともに歩んできた法人として地域の未来に思いをはせ、これからの地域を展望しつつ、現前の諸課題に取り組む。

これから仙南圏では人口減少と超高齢化、長寿化が同時進行することで確実に介護サービスの需要が増大する。現在増加中の老年人口（65歳以上）は2030年頃をピークに減少に転じるが、85～89歳の人口は2040年頃まで増加が続き、90歳以上は2040年以降もピークアウトせず増加傾向が続く。仙南圏は、2060年までに人口の5割が65歳以上、3割が75歳以上、2割が85歳以上、1割が90歳以上という、**人類未踏の超高齢社会**に到達する見通しである※1。

この急速な人口変動によって85歳以上の（とくに女性の）単身世帯や高齢夫婦（老老）世帯が急増し、一人暮らしの認知症高齢者や夫婦ともに要介護などのケースも増加する。だが、人口減少により地域社会が本来持つ相互に助けあう機能が弱まり、高齢者を支えてきたコミュニティの力は衰退する。地域の介護問題は緩徐に、しかし確実に深刻さを増していき、孤立、虐待、孤独死、引きこもり、8050、ダブルケア、ヤングケアラーなどの問題が複合するケースも増え、介護ニーズは増大しながら複雑化し、多様化する。

また一方、戦後生まれ（団塊世代等）の後期高齢者の増加によって介護ニーズはさらに多様化が進む。戦後生まれの高齢者については、20代から70代までの全国一人を対象にしたサントリーウエルネスの意識調査「**実感年齢白書2022**」がいまの60-70代のライフスタイルを報告している。

この調査で実感年齢が若いと回答した60-70代の「趣味」の上位には、ボディケア、ダンス、バスケット、筋トレなどがランキングされ、また「好きな音楽」では、ゲーム音楽、ヒップホップ、エレクトリック、ミュージカル、メタル、Kポップなどの目新しいジャンルが上位を占めた（演歌や歌謡曲は16位以下のランキング外）。他の結果をみても60-70代と若い世代のライフスタイルに大きな差異はなく、これまでの「美容には関心が薄く、草花を愛で、運動は体操かゲートボールで、演歌を聴く」といったステレオタイプの高齢者像にはアップデートが必要になる。

こうしたシニア・団塊世代がこれから後期高齢者になり、多様な生活習慣や価値観をもつ要介護高齢者が増えることで、個々の人生に寄り添う介護の課題もまた多様化する。

しかし、地域にとって介護需要の増大やニーズの多様化よりもっと深刻な問題は**労働人口の減少**である。国立社会保障・人口問題研究所の推計（2019年）によると、現在16,4万人の仙南圏の総人口は2060年には9万人弱に、村田町は1,02万人から5,2千人に縮小する※2。労働人口（15～64歳）は毎年1,350人ペースで減少し、2045年までに約3万人、2060年までに約5万人減少する。

この人口減少により医療・福祉分野の労働人口が急減し、さらに介護の需要増大が同時進行するため相対的に人手の減少幅（**需給ギャップ**）が拡大する。もともと有効求人倍率が低く労働者が仙台圏に流出しやすい仙南圏ではなおさら労働人口の減少ダ

メージは大きくなる。

厚生労働省の公表資料※3では、都道府県が推計した介護職員の必要数に対し、2023年度は約22万人、2025年度は約32万人、2040年度は約69万人が不足する見通しであり、看護師も2040年までに6～27万人不足するとみられ、厚生労働白書（令和4年版）は2040年には医療・福祉分野で**100万人程度の人材不足**が生じると予測している。

**** **** **** **** **** ****

こうした将来展望を踏まえ、新年度の事業計画の策定にあたって、柏松会高齢者部門の当面の方針案を以下に簡略にまとめる。

今回、高齢者部門の方針案として掲げるのは、(1)人手不足を解消するための対策の推進、(2)地域包括ケアシステムへの積極的な参入、の2点である。

(1) 人手不足を解消するための対策の推進

通常、人手不足の解消には人手を確保するか、仕事の負担を減らすかしか方法がない。

まず、人手を確保する策として、①離職を防ぐ施策（リテンション）を最適化して定着率を高める、②SDGs等の**ブランディング**によって企業価値を高めて求人応募を増やす、③**ダイバーシティ**や多様就業型ワークシェアリングなどを導入して雇用形態を多様化する、④定年延長等により65歳～74歳を**准高齢者**（pre-old）の労働力として積極的に活用する、⑤特定技能や技能実習生などの**外国人材**を受入れる、などの取り組みを順次進めていく。

だが、こうした取り組みが功を奏さず、20人の部署がやがて14人に、10人の部署が7人にと、職員数が徐々に減っていく可能性が今後は大いにある。

そのため、これからは、業務効率化によって仕事の負担（コスト）の削減を図りながら、少ない人数でも同等以上の成果を生み出す**労働生産性の向上**が喫緊の課題になる。

業務効率化には、介護ロボットやICTなどによる**デジタル化（介護DX）**が不可欠である。メジャーな機器として、①予測型見守りシステム、②睡眠計測センサー（眠りスキャン等）、③排尿検知センサー、④スマホ連携ナースコール、⑤音声による記録入力、⑥RPA（ロボットによる業務自動化）、⑦無線通信機器（インカム）などがあり、順次導入を検討する。また、作業効率アップと職員の健康リスクの低減をねらいとして、⑧**電動リフト**（移乗機）や⑨セグウェイなどの導入も検討する。

このように、人材確保と生産性向上を人手不足対策の両輪とし、これからの労働人口減少に対処していく。

(2) 地域包括ケアシステムへの積極的な参入

この方針を掲げる第一の理由は、地域包括ケアシステムの中で私たち柏松会の役割が今後ますます重要になると考えるからである。

地域包括ケアシステムとは、「重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい、医療、介護、予防、生活支援が一体的に提供される仕組み」と定義される。また、このシステムは画一的

なものではなく、地域の特性にあわせて構築するものとされる。

仙南圏の各市町村は、2025年に向けてこの地域包括ケアシステムの構築を進めているが、マンパワーや財源等の面でも多くの課題があり、システムの中核である自治体もここ数年は新型コロナの対応に追われ、その基盤構築になかなか手がまわらなかったというのが実情だろう。

だが、仮に地域包括ケアシステムが一定の完成をみたとしても、医療・介護（多主体）間の連携における**見えない障壁**（メンタルバリア）や**地域間の供給格差**、そして医療・福祉分野の人手不足などの問題がすべて解決するわけではない。資源間のネットワークが強化され、一体的な支援が多少円滑になったとしても、深刻な地域課題は依然として残り続けるだろう。

ならば、地域の数少ない介護サービスの提供主体として、地域包括ケアシステムの基盤づくりに積極的に参画し、**地域の未来にコミット**することは、私たちの当然の責務ではないだろうか。

豊かな未来をつくる 安心の絆～いつまでも暮らし続けられるまちづくり～
(村田町第8期介護保険事業計画基本理念)

二つ目の理由は、高齢者の「幸せ」には地域とのつながりが必要だからである。

人間の幸福度は、お金や環境や社会的ステイタスなどよりも、深い仲の人がどれだけいるか、自分を理解してくれる人が周りにいるかどうかが大きく関係していることをハーバード大学の75年間の追跡研究が明らかにした※4。それによると、家族、友達、社会のコミュニティとつながっている人ほど身体的な健康度が高く、幸福度も高かった。また、他の研究報告でも全ての年齢層、性別、民族において、強い社会的つながりは長生きの確率上昇と関連することがわかっている。反対に孤独は人間にとって最も有害なものとなる。

私たちはこれまで、利用者の生活ニーズ（解決すべき課題）に焦点をあて、専ら自立支援と健康維持に注力してきた。個々の「状態」に向きあい、ご本人ができない部分を補う、改善できる部分は改善するという考え方をベースに、その利用者にとっての「望ましい暮らし」を志向してきた。

だが、これからは**人生会議**（ACP）、あるいはスウェーデンの**オムソーリ**（omsorg）のように、利用者の人生の質（QOL）を主な論点とし、「人生の継続性」と「生活の自己決定」をサービス検討における最も重要な課題に設定すべきである。個人の生活への介入は最小限にとどめ、適宜体調を見守りつつ過度な管理はせず、人の幸せの条件である地域社会とのつながり、人間関係の継続にフォーカスする。その小さな一つ一つの実践がコミュニティの再生につながっていく。

私たちは、ずっとこれからも、地域の高齢者が「自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう」、最良のサービスを模索し続ける。地域の危機に際し、地域とのつながりを深め、地域包括ケアシステムの基盤づくりに貢献し、地域の高齢者の「福祉」を追求する。

(文責 飯野)

※1 国立社会保障・人口問題研究所 将来推計人口（2019年）

※2 村田町人口ビジョン（令和2年）

※3 第8期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について（令和3年7月）

※4 TED Talks/What makes a good life? Lessons from the longest study on happiness/Robert Waldinger

特別養護老人ホーム柏松苑

1. 令和5年度の目標と取組み

① 人手不足を解消するための対策の推進

- ▶ 離職を防ぐ施策(リテンション)の最適化
- ▶ 多様就労型ワークシェアリング等の導入による雇用形態の多様化
- ▶ 定年延長と高齢者を活用したタスクシフト(洗濯、清掃等の間接業務の移管、業務仕分け)
- ▶ LINEWORKS(ラインワークス)導入によるチーム内での情報共有化・業務迅速化
- ▶ 介護ロボット(見守りセンサー、睡眠計測センサー、排尿検知センサー等)の導入検討
- ▶ eラーニング(オンライン)研修による個々のスキルアップ、研修業務の効率化

② 地域包括ケアシステムへの積極的な参入

- ▶ 地域包括ケアシステムの基盤づくりに参画する機能的組織づくりと職員教育
- ▶ 地域と介護現場の接続(生活支援事業、認知症カフェ、運動サロン等に現場職員が参加)
- ▶ 家族、友人知人とのつながりの継続の支援、ACP(アドバンス・ケア・プランニング)シートの作成
- ▶ 町内社会福祉法人連絡会(新設)における買い物支援等の地域課題の共有化

③ 介護事故ゼロを目指す安全対策体制の強化

- ▶ 不安全状態の確認の徹底、情報伝達と連携の質の向上
- ▶ ヒヤリ・ハット事故報告の見直し、安全管理(事故予防)マニュアルの見直し
- ▶ リスクを精緻かつ多層的に可視化、バックグラウンドごとのリスク予測、エビデンスの蓄積

④ 感染症・自然災害への対応力強化、組織の強靱化

- ▶ 業務継続計画(BCP)、事業継続力強化計画の策定
- ▶ 感染症発生時の迅速かつ有効な対応を可能とする感染防止システムの最適化
- ▶ 感染症予防対策マニュアル、安全対策(事故予防)マニュアル等の見直し、更新

⑤ 不適切なケア・虐待防止のための職員教育の見直し

- ▶ 身体拘束や虐待を防ぐエイジズム、パターナリズム等の倫理教育の見直し
- ▶ インクルージョン、ノーマライゼーション、ダイバーシティ等の価値観の教育、啓蒙
- ▶ メンター制度の試行的取り組み、スーパーバイザー養成の仕組みづくり

⑥ 科学的介護の推進

- ▶ 科学的介護情報システム(LIFE)のフィードバックとケアプラン・栄養ケア計画での活用
- ▶ NDソフトウェア(ほのぼのネクスト)による事業所間での利用者情報(FS等)の共有化、一元化
- ▶ エビデンスに基づく栄養ケア、食事ケア、排泄ケア、褥瘡予防、認知症ケアの推進

2. 行事予定

月	行事名	主な内容
4月	お花見散策	園庭や近隣の桜散策。
	お花見お食事会	桜の花びらの舞う苑庭でお食事会。
5月	新緑ドライブ	蔵王方面、秋保方面へのドライブ。
	端午の節句御膳	天ぷらや茶碗蒸しのついた御膳を提供。
6月	たこ焼おやつ会	苑庭でたこ焼を焼き、屋台を楽しんでいただく。
	ホーム喫茶	そらまめ祭にリンク。ケーキ、和菓子などのスイーツに舌鼓を打つ。
7月	七夕御膳	天の川をイメージした御膳。
	ホーム喫茶	七夕をイメージしたケーキ、和菓子などを提供。
8月	柏松苑夏まつり	日本の夏。神輿や盆踊りで昭和の夏祭りを再現。
	花火大会	夏の風物詩。夜空に打ち上げ花火と夕涼み。
	ホーム喫茶	夏を感じるようなケーキ、和菓子などを提供。
9月	敬老会	敬老受賞式典、祝い膳で長寿を祝う。
	ふるさと巡り	馴染みある景色を巡り、懐かしむ。
	ホーム喫茶	もみじをイメージしたケーキ、和菓子などを提供。
10月	芋煮会	秋晴れの苑庭で芋煮、バーベキュー、秋刀魚塩焼きに舌鼓。
	布袋祭り膳	村田町布袋祭りに合わせて御膳を提供。
	ホーム喫茶	ハロウィンをイメージしたケーキ、和菓子などを提供。
11月	紅葉ドライブ	村田町内紅葉の名所ドライブ。
	ホーム喫茶	秋から冬をイメージしたケーキ、和菓子などを提供。
12月	クリスマス忘年会	おいしい食事と催し物で一年を締め括る。
	餅つき会	杵と臼で餅をつき、つきたての餅を振る舞う。
	ホーム喫茶	冬をイメージしたケーキ、和菓子などを提供。
	年越しそば	エビがのった年越しそばを提供。
1月	お屠蘇振舞い	各ユニットをまわり、お屠蘇をふるまう。
	お正月御膳	おせちを提供。
	新年会	新しい年をおいしい食事と催し物で賑やかに迎える。
2月	節分豆まき会	豆をまき、一年の無病息災を祈る。
	節分御膳	恵方巻を提供。
	ホーム喫茶	バレンタインをイメージしたケーキ、和菓子などを提供。
3月	桃の節句御膳	ちらし寿司を提供。
	ホーム喫茶	ホワイトデーをイメージしたケーキ、和菓子などを提供。

3. 会議・委員会

会議名	頻度	開催月	担当者
① 柏松苑ケア推進会議	毎月	第3火曜日	ケアワーカー主任
② 柏松苑全体会議	年4回		ケアワーカー主任
③ 柏松苑ユニット会議	年4回	4月、7月、10月、1月	ユニットリーダー
④ 柏松苑リーダー会議	毎月		ケアワーカー主任
⑤ 運営会議	毎月		施設長
⑥ 運営推進会議	年4回	5月、8月、11月、2月	相談員兼ケアマネジャー
⑦ 苦情解決サービス会議	随時		相談員兼ケアマネジャー
⑧ サービス担当者会議	随時		相談員兼ケアマネジャー
⑨ 給食サービス会議	年3回	4月、8月、12月	管理栄養士
⑩ 看護会議	年4回	5月、9月、1月	看護師主任
⑪ 入所判定会議	随時		相談員兼ケアマネジャー
⑫ 安全対策委員会	毎月		ケアワーカー主任
⑬ 感染症対策委員会	年4回	4月、7月、10月、1月	看護師主任
⑭ 災害対策委員会	年4回	5月、8月、11月、2月	相談員兼ケアマネジャー
⑮ 虐待防止委員会	年2回	4月、11月	ケアワーカー主任
⑯ 身体拘束適正化委員会	年4回	5月、8月、11月、2月	ケアワーカー主任
⑰ 看取りケア委員会	年2回	6月、11月	看護師主任
⑱ 褥瘡予防委員会	年3回	5月、9月、2月	看護師主任

4. 内部研修・訓練

研修名	開催月	開催場所	担当者・参加者
① 新任職員研修	4月	センターホール	各部署主任
② 現任職員研修	未定	デイ会議にて	各部署主任、リーダー
③ 防災訓練（合同）	6月、10月	柏松苑	施設長

(2) eラーニング研修

① フォローアップ研修ネット配信

- ・ 専門研修 楽レク・遊びリテーション、排泄支援、介護者の「気づき」、認知症ケア、摂食嚥下、入浴ケア、トランスファー、転倒予防、感染予防など
- ・ 法定研修 認知症の理解、プライバシー保護、倫理・法令順守、事故予防・再発防止、感染症・食中毒、身体拘束・虐待防止、非常災害時対応など
- ・ 30分研修 三好春樹のケアすることの根拠、尿意回復ステージ、誤嚥性肺炎と食事支援、ケアマネジメント実践力、伝える力・聞く力、記録の技術、PDCAの理解など

② 介護技術動画マニュアルネット配信

- ・ 配信コンテンツ 介護技術の基本、移乗、移動、福祉用具、ポジショニング、健康管理、排泄、服薬、緊急時対応、接遇、食事、摂食嚥下、口腔ケア、ボディメカニクスなど

地域密着型特別養護老人ホーム柏松苑別館穂の香

1. 令和5年度の目標と取組み

① 人手不足を解消するための対策の推進

- ▶ 離職を防ぐ施策(リテンション)の最適化
- ▶ 多様就労型ワークシェアリング等の導入による雇用形態の多様化
- ▶ 定年延長と高齢者を活用したタスクシフト(洗濯、清掃等の間接業務の移管、業務仕分け)
- ▶ LINEWORKS(ラインワークス)導入によるチーム内での情報共有化・業務迅速化
- ▶ 介護ロボット(見守りセンサー、睡眠計測センサー、排尿検知センサー等)の導入検討
- ▶ eラーニング(オンライン)研修による個々のスキルアップ、研修業務の効率化

② 地域包括ケアシステムへの積極的な参入

- ▶ 地域包括ケアシステムの基盤づくりに参画する機能的組織づくりと職員教育
- ▶ 地域と介護現場の接続(生活支援事業、認知症カフェ、運動サロン等に現場職員が参加)
- ▶ 家族、友人知人とのつながりの継続の支援、ACP(アドバンス・ケア・プランニング)シートの作成
- ▶ 穂の香運営推進会議での地域包括ケアに関する意識調査、意見交換会の実施

③ 介護事故ゼロを目指す安全対策体制の強化

- ▶ 不安全状態の確認の徹底、情報伝達と連携の質の向上
- ▶ ヒヤリ・ハット事故報告の見直し、安全管理(事故予防)マニュアルの見直し
- ▶ リスクを精緻かつ多層的に可視化、バックグラウンドごとのリスク予測、エビデンスの蓄積

④ 感染症・自然災害への対応力強化、組織の強靱化

- ▶ 業務継続計画(BCP)、事業継続力強化計画の策定
- ▶ 感染症発生時の迅速かつ有効な対応を可能とする感染防止システムの最適化
- ▶ 感染症予防対策マニュアル、安全対策(事故予防)マニュアル等の見直し、更新

⑤ 不適切なケア・虐待防止のための職員教育の見直し

- ▶ 身体拘束や虐待を防ぐエイジズム、パターナリズム等の倫理教育の見直し
- ▶ インクルージョン、ノーマライゼーション、ダイバーシティ等の価値観の教育、啓蒙
- ▶ メンター制度の試行的取り組み、スーパーバイザー養成の仕組みづくり

⑥ 科学的介護の推進

- ▶ 科学的介護情報システム(LIFE)のフィードバックとケアプラン・栄養ケア計画での活用
- ▶ NDソフトウェア(ほのぼのネクスト)による事業所間での利用者情報(FS等)の共有化、一元化
- ▶ エビデンスに基づく栄養ケア、食事ケア、排泄ケア、褥瘡予防、認知症ケアの推進

2. 行事予定(給食イベントを含む)

月	行事名	主な内容
4月	お花見弁当	桜をイメージした御膳。
	桜餅作り	利用者様と共に桜餅作り
	お花見散歩	谷山温泉近隣での桜の鑑賞。
	畑苗植え	季節の野菜を植える。
5月	新緑お祝い御膳	天ぷらや茶碗蒸しのついた御膳。
	たこ焼き作り	利用者様と一緒にたこ焼き作り。
	新緑ドライブ	新緑を車窓から眺め、地元の味覚を堪能。
	花植え	季節のお花を植える。
6月	パンケーキまつり	利用者様と一緒にフレンチトースト作り。
	紫陽花スイーツドライブ	車窓から紫陽花を眺め地元のカフェでスイーツを食べる。
7月	納涼祭	縁日でお祭りの雰囲気味わってもらおう。
	七夕飾り作り	各ユニットで願いをこめての七夕飾り作り。
	七夕御膳	天の川をイメージした御膳。
8月	稲カフェ	ひんやりスイーツを堪能。
	花火大会	手持ち花火や噴射花火を鑑賞。
9月	敬老会(茶話会)	家族参加の敬老受賞式典、一緒に茶話会を楽しむ。
	敬老お祝い膳	ご長寿をお祝いした御膳。
10月	芋煮会	芋煮汁とサンマ、穂の香野菜の焼き芋を屋外で。
	紅葉ドライブ	紅葉を車窓から眺め、地元の味覚を堪能。
	布袋祭り	地元の行事へ参加し楽しむ。
	畑収穫祭	利用者様と一緒に収穫を楽しむ。
11月	クリスマスリース作り	各ユニットで思い思いのクリスマスリースを作成する。
	干し柿作り	利用者様とボランティアの方の交流を含めての柿剥き。
12月	忘年会(忘年会食)	職員のアトラクション、1年を締めくくる御膳、家族と食事会。
	ゆず茶作り	ゆず茶を作った後は皆でティータイム。
	年越しそば	エビの乗った年越しそば。
	しめ縄づくり	各ユニットで思い思いのしめ縄を作成する。
	クリスマス飾り付け	各ユニットでクリスマスにちなんだ飾り付け。
1月	お正月御膳	おせちを提供。
	屠蘇振舞い(獅子舞)	乾坤一を振る舞う、各ユニットをまわり獅子舞で厄除け。
	餅つき	餅つきの醍醐味を味わってもらおう。
	団子刺し	小正月行事。
	干し柿試食会	干し柿の提供。
2月	豆まき	節分行事、厄除け。
	節分御膳	節分恵方巻き。
	雛祭り製作	各ユニットで雛祭りにちなんだ飾り付けの作成。
3月	雛祭り御膳	雛祭りにちなんでちらし寿司。

3. 会議・委員会

会議名	頻度	開催月	担当者
① 穂の香ケア推進会議	毎月	第3火曜日	ケアワーカー主任
② 穂の香全体会議	年4回		ケアワーカー主任
③ 穂の香ユニット会議	年4回	4月、7月、10月、1月	ユニットリーダー
④ 穂の香リーダー会議	毎月		ケアワーカー主任
⑤ 運営推進会議	年4回	5月、8月、11月、2月	相談員兼ケアマネジャー
⑥ 苦情解決サービス会議	随時		相談員兼ケアマネジャー
⑦ サービス担当者会議	随時		相談員兼ケアマネジャー
⑧ 給食サービス会議	年3回	4月、8月、12月	管理栄養士
⑨ 入所判定会議	随時		相談員兼ケアマネジャー
⑩ 安全対策委員会	毎月		相談員兼ケアマネジャー
⑪ 感染症対策委員会	年4回	4月、7月、10月、1月	看護師
⑫ 災害対策委員会	年4回	5月、8月、11月、2月	相談員兼ケアマネジャー
⑬ 虐待防止委員会	年2回	4月、11月	ケアワーカー主任
⑭ 身体拘束適正化委員会	年4回	5月、8月、11月、2月	ケアワーカー主任
⑮ 看取りケア委員会	年2回	6月、11月	看護師
⑯ 褥瘡予防委員会	年3回	5月、9月、2月	看護師

4. 内部研修・訓練

(1) 職場内研修

研修名	開催月	開催場所	担当者・参加者
① 新任職員研修	4月	地域交流スペース	ケアワーカー主任
② 現任職員研修	未定	地域交流スペース	ユニットリーダー
③ 防災訓練	6月、10月	地域交流スペース	ユニットリーダー、看護師

(2) eラーニング研修

① フォローアップ研修ネット配信

- ・ **専門研修** 楽レク・遊びリテーション、排泄支援、介護者の「気づき」、認知症ケア、摂食嚥下、入浴ケア、トランスファー、転倒予防、感染予防など
- ・ **法定研修** 認知症の理解、プライバシー保護、倫理・法令順守、事故予防・再発防止、感染症・食中毒、身体拘束・虐待防止、非常災害時対応など
- ・ **30分研修** 三好春樹のケアすることの根拠、尿意回復ステージ、誤嚥性肺炎と食事支援、ケアマネジメント実践力、伝える力・聞く力、記録の技術、PDCAの理解など

② 介護技術動画マニュアルネット配信

- ・ **配信コンテンツ** 介護技術の基本、移乗、移動、福祉用具、ポジショニング、健康管理、排泄、服薬、緊急時対応、接遇、食事、摂食嚥下、口腔ケア、ボディメカニクスなど

村田町デイサービスセンター

1. 令和5年度の目標と取り組み

① 地域包括ケアシステムへの積極的な参入

- ▶ 趣味活動団体や地域の子供たちとの交流の機会を増やす
- ▶ 地域とのつながりを深める取り組み(認知症カフェ、沼辺運動サロン等への参加)
- ▶ 広報誌(おたっしやだより)の作成配布、活動内容の宣伝とプログラム案内(PR活動)

② 人手不足を解消するための対策の推進

- ▶ 離職を防ぐ施策(リテンション)の最適化
- ▶ LINEWORKS(ラインワークス)導入によるチーム内での情報共有化・業務迅速化
- ▶ eラーニング(オンライン)研修による個々のスキルアップ、研修業務の効率化

③ アクティビティと自己選択型プログラムの充実

- ▶ 体操、遊びリテーション、創作活動メニューの見直し
- ▶ 自己選択型プログラム(手芸、大工、カラオケ、書道等)の取り組み
- ▶ 心身機能向上を目的とする運動機能訓練の実施

④ 安全対策・危機管理体制の強化

- ▶ 「気づき」の共有、ヒヤリ・ハット報告の情報共有、原因分析と再発防止策と徹底
- ▶ 災害対策委員会の見直し、防災訓練の見直し、消防計画・非常災害マニュアルの更新
- ▶ 感染症発生時の迅速かつ有効な対応を可能とする感染防止システムの最適化

2. 行事予定

月	行事名	主な内容
4月	お花見(茶話会)	風流に桜をながめて一服、春の団らん
5月	デイの庭で畑づくり	畑でできた野菜を使って献立を立てます
6月	わたあめおやつ会	昔の思い出に浸りながら
7月	七夕飾りつけ	青竹に願いごとの飾りつけ
8月	夏まつり	盆踊り、ゲーム、かき氷、アイスクリーム、焼きそばetc・・・
9月	たこ焼パーティー	皆でたこ焼を焼いて楽しくパーティー
10月	敬老会	敬老受賞式、記念撮影、舞踊慰問など
11月	焼き芋会	食欲の秋、ホクホクの焼き芋を頬張ります
12月	クリスマス週間	ハンドベルで演奏会をします
1月	新年会	新春相撲大会で、新年の景気づけ!
2月	節分豆まき	鬼たちに大粒の豆をぶつけ、邪を払い福と春を呼び込みます
3月	ひな祭り(桜餅作り)	塩漬けの桜の葉を使用し、本格的な桜餅を作ります

3. 体操、遊びリテーション、創作活動

種類	主な内容
① 体操	棒、タオル、ペットボトル、座位極拳、水戸黄門、ラジオ、玉つき、365歩のマーチ、北国の春、ボールきよしのずんどこ節、表情筋、長生き音頭、など
② 遊びリテーション	羽子板、干支の当て、まちがいさがし、うちわ合戦、ふわらふわら、ホールインワン、ハンドベル(海)、ベンチホッケー、テーブルホッケー、バドミントン、風船バレー、ゲートボール、手も足もパタパタ、くぎ打ちゲーム、PKサッカー、キックボーリング、物送り、輪投げ、スリッパポイポイ、田植えゲーム、玉入れ、箸使い、糸巻ゲーム、わなげでひっぱれ、ねらってねらって、など
③ 創作活動	切りえ、貼り絵、編み物、書道、ホットケーキ、たこ焼きなど

4. 会議・委員会

会議名	頻度	開催月	担当者
① デイ会議	毎月	第3月曜日	管理者、センター主任
② 身体拘束適正化委員会	年4回	5月、8月、11月、2月	管理者、センター主任
③ レク会議	毎月	毎月	ケアワーカー

5. 内部研修・訓練

(1) 職場内研修

研修名	開催月	開催場所	担当者・参加者
① 現任職員研修	未定	デイ会議にて	管理者、センター主任
② 防災訓練(合同)	6月、10月	柏松苑	センター主任、生活相談員

(2) eラーニング研修

① フォローアップ研修ネット配信	
・ 専門研修	楽レク・遊びリテーション、排泄支援、介護者の気づき、認知症コミュニケーション、接遇マナー、摂食嚥下、入浴ケア、トランスファー、転倒予防、感染予防など
・ 法定研修	認知症の理解、BPSD、プライバシー保護、倫理・法令順守、事故予防・再発防止、感染症・食中毒、身体拘束・虐待防止、非常災害時対応など
・ 30分研修	三好春樹のケアすることの根拠、尿意はなくなるしない、ブリコラージュとしての介護、ケアマネジメント実践力、伝える力・聞く力、記録の技術、PDCAの理解など
② 介護技術動画マニュアルネット配信	
・ 配信コンテンツ	介護技術の基本、移乗、移動、福祉用具、ポジショニング、健康管理、排泄、服薬、緊急時対応、接遇、食事、摂食嚥下、口腔ケア、ボディメカニクスなど

谷山介護支援センター

1. 令和5年度の目標と取り組み

① 地域包括ケアシステムへの積極的な参入

- ▶ 地域における公益的な取り組み、運動サロンの活動支援及び地域貢献活動の開発
- ▶ ケアマネジメントの質の向上、専門職としての資質向上、制度理解による迅速な対応
- ▶ 多様な主体による生活支援サービスが包括的に提供される居宅サービス計画の作成
- ▶ Webシステム等を活用したケアマネジメントプロセスの推進

② ケアコーディネーション、コミュニティケア

- ▶ 利用者の心豊かな生活の実現に寄与するマネジメントの実践
- ▶ 住み慣れた地域や自宅で安心した生活が継続できるように支援
- ▶ 行政機関や医療関係機関、他事業所との連携を強化

③ 感染症・災害への対応力強化

- ▶ 日頃からの備えと業務継続に向けた取り組みの推進
- ▶ 非常災害対策(計画策定、関係機関との連携体制の確保、避難等訓練の実施等)
- ▶ 感染症BCP(計画策定、関係機関との連携、感染拡大防止体制の確立)

2. 年間予定

行事名	開催月	主な内容
① 認知症初期集中チーム員会議	偶数月	認知症初期への包括的支援チーム会議
② 村田町ケアマネジャー連絡会	年3、4回	沼辺地区の介護予防活動の協力、支援
③ オレンジカフェ(3か月に1回)	隔月	認知症の人や家族が集う場での協力支援
④ 蔵王町ケアマネジャー研修会	年3回	スキルアップ研修、交流
⑤ 村田町事業所連絡会	年2回	事業所のスキルアップ研修、交流
⑥ 村田町地域ケア推進会議	年3、4回	地域包括ケアシステム構築に向けた会議
⑦ 蔵王町地域ケア推進会議	年3、4回	地域包括ケアシステム構築に向けた会議
⑧ 村田町認知症サポーター養成講座	年2回	キャラバンメイトの一員として学習会に参加
⑨ 他法人との事例検討会	年2回	居宅支援事業所あいやまとの事例検討会
⑩ 仙南保健福祉事務所主催の研修会	年2回	認知症や権利擁護等スキルアップ研修会
⑪ 仙南ケアマネジャー協会主催研修会	年2回	認知症や権利擁護等スキルアップ研修会
⑫ 柴田町ケアマネジャー連絡会	年2回	スキルアップ研修、交流

2. 会議・委員会

会議名	頻度	開催月	担当者
① 谷山会議	毎月	第4火曜日	管理者、ケアマネジャー
② 週ミーティング	毎週	毎週月曜日	管理者、ケアマネジャー
③ 感染症対策委員会	年2回	4月、10月	管理者、ケアマネジャー
④ 虐待防止委員会	年2回	5月、11月	管理者、ケアマネジャー
⑤ 災害対策委員会	年2回	6月、12月	管理者、ケアマネジャー

3. 内部研修・訓練

(1) 職場内研修

研修名	開催月	開催場所	担当者・参加者
① 新任職員研修	入職時	相談室	管理者
② 安全対策・事故予防	5月	谷山会議	管理者、ケアマネジャー
③ 接遇マナー	6月	谷山会議	管理者、ケアマネジャー
④ 災害対策	7月	谷山会議	管理者、ケアマネジャー
⑤ ケアコーディネーション	8月	谷山会議	管理者、ケアマネジャー
⑥ プライバシー保護	9月	谷山会議	管理者、ケアマネジャー
⑦ ハラスメント防止	10月	谷山会議	管理者、ケアマネジャー
⑧ 倫理・人権擁護	11月	谷山会議	管理者、ケアマネジャー
⑨ 感染予防対策	12月	谷山会議	管理者、ケアマネジャー
⑩ 救急救命	1月	谷山会議	管理者、ケアマネジャー
⑪ 介護保険制度概論	2月	谷山会議	管理者、ケアマネジャー

(2) 個別研修

研修名	開催月	開催場所	担当者・参加者
① 医療連携について	6月	相談室	管理者、ケアマネジャー
② 介護予防と自立支援	9月	相談室	管理者、ケアマネジャー
③ 認知症ケア（共生共存）	11月	相談室	管理者、ケアマネジャー
④ ケアプラン点検	1月	相談室	管理者、ケアマネジャー

(3) eラーニング研修

① フォローアップ研修ネット配信	
・ 専門研修	介護保険制度の概要、介護保険法改正、介護報酬改定の概要、倫理・法令順守、プライバシー保護の取り組み、基礎からわかるアセスメント実践研修など
・ 30分研修	ケアマネジメント実践力、ケアマネジメントの定義と過程、介護保険制度の理念、ケアマネジメント過程の詳細解説、居宅介護支援の評価体系、運営基準減算など